



はしかみ

令和8年度 学校教育目標

「豊かな人間性と創造性を持ち、心身ともに健康で、たくましく生きる児童を育成する」

目指す児童像

- 思いやりと正しい心を持つ子
- 楽しく学び合い、考える子
- たくましい心と体でがんばる子



【披露式】

今年度は、東向陽台小学校より村山 浩康校長先生、階上中学校より櫻井 美佐子先生、鹿折小学校より千田 康太先生、新規採用で木川田 千紘先生、新規で萩原 風季先生、大谷小学校より玉川 漸先生、主事の芳賀 千晶先生、初任研後補充の尾形 俊明先生の8名の職員が転入しました。披露式では、児童を代表して6年生のMEさんがお迎いの言葉を立派に発表しました。各クラスの様子や海洋学習のこと、防災学習や「あいさつ日本一」を目指しての「あいさつ運動」、「さざなみフェスティバル」などの行事も紹介しました。新しい先生方との出会いを大切に、みんなで頑張っていこうという心意気を感じました。



【 始業式 ～校長先生のお話～ 】



皆さん、進級おめでとうございます。今日から新しい学年が始まりましたね。皆さんのキラキラした瞳やしっかりと話を聞こうとする態度から「やるぞ!」という意気込みが伝わってきて、校長先生は今、とてもワクワクしています。さて、新しい学年を迎えた皆さんに、校長先生から2つの「大切なこと」をお話します。

1つ目は、「自分」を成長させるために大切なことです。皆さんは、世界にたった一人しかいない大切な存在です。自分のよいところをたくさん見つけてください。そして、自分の命を、体を、心を、大切に守ってください。皆さんがこの1年間、笑顔で明るく学校生活を送り、心も体も大きく成長できるように、「心のエンジン」を積んでほしいと思っています。どんなエンジンかというと、「自分から!そして、最後まで!」ということ、常に心の中に持って、これから始まる学習や行事などに取り組んでほしいと思います。先生に言われたからやるのではなく、「次はどうすればもっと楽しくなるかな?」「自分は楽しいけど、友達も楽しいのかな?」などと自分の頭で考えて、自分から一歩踏み出し行動してみてください。自分から考えて動くと、景色がガラッと変わります。まずは「自分から!」です。そして、学習や行事などでも、始めたことを「あと一歩、粘ってみること」です。何かを始めたとき、最初は楽しくても途中で「ああ、面倒くさいな」「難しいな」と思うことがあるかもしれません。そんな時こそ「心のエンジン」を思い出し、すぐにやめてしまうのではなく、「あと一回だけやってみよう」「あと5分だけ頑張ってみよう」と粘り強く踏ん張ってみてください。途中で投げ出さずに最後までやり抜いた時、皆さんの心は、今の何倍も強く、たくましくなります。その時、皆さんの「明るい笑顔」は、もっともっと輝くはずですよ。

2つ目は、みんなが明るく笑顔で過ごすために大切なことです。それは「友達」「先生」「おうちの人」「地域の方」など、自分以外の他の人を大切にするということです。一人でできることには限りがありますが、仲間と力を合わせれば、大きなことができます。困っている友達がいたら「どうしたの?」と声を掛けられる、優しい階上の子であってほしいと思います。また、皆さんが毎日元気に学校に通えるのは、おうちの皆さんや地域の皆さんが見守ってくれているからです。何かしてもらったら「ありがとうございます。」と言える子であってほしいです。そして、登下校で友達、先生、地域の方に会ったら、元気に「おはようございます!」と挨拶をしましょう。皆さんの元気な声が、階上地区を明るくします。

6年生の皆さんは、今日からこの学校の「顔」です。下級生のお手本となって、階上小学校の伝統をしっかり引き継いでいってください。5年生から2年生の皆さんも、一つ上の学年になった自覚を持って、新しいことにどんどんチャレンジしてください。

先生たちも、皆さんが「明日も学校に来るのが楽しみだ!」と思えるような、笑顔あふれる学校にするために全力で頑張ります。この一年間、みんなで力を合わせて、日本一すてきな「階上小学校」をつくっていきましょう。

